

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (沖縄)	◎	観光型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・ホテルの9月の販売室数が前年比58%減少でマイナスなのに対して、12月の販売室数は前年比21%増加と、プラスに転じている。
	○	百貨店(店舗企画)	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンの後押しもあり景気は上向き傾向になっている。その一方で、家で過ごす傾向が強くなり、クリスマスケーキ、おせち等が前年を大きく上回っている。
	○	スーパー(企画担当)	単価の動き	・新型コロナウイルス禍で、クリスマスや正月を自宅で過ごす人が増えている。そのなかで、クリスマスケーキやおせちの予約を含めて、少しぜいたくした食材や料理を求める客が増え、客単価が10%前後アップしている。
	○	コンビニ(経営者)	単価の動き	・新型コロナウイルス禍の影響もあり、まとめ買い客が増えている。
	○	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・他キャリアに先駆けての新料金プランの発表によりキャリアへの好感度が上がり客数、販売数とも増加傾向にある。
	○	住宅販売会社(役員)	販売量の動き	・中古住宅や事業性土地取引が件数、取扱額とも順調に増えている。賃貸住宅の契約件数も順調である。
	□	スーパー(販売企画)	来客数の動き	・新規競合店の影響が続いていることと、新型コロナウイルス禍での客数減少もあり厳しい状況が続いている。
	□	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・一旦回復の兆しがみえてきたかと思われたが、自粛ムードの拡大により単籠り感が強くなり、来店する客も1000人前後と大きな変化はみられない。
	□	住宅販売会社(代表取締役)	お客様の様子	・個人住宅及び投資案件など一定の請負契約受注を頂いている。
	▲	一般小売店[酒](店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で外出ができない状況なので外食、イベントの落ち込みが激しい。
	▲	コンビニ(副店長)	来客数の動き	・政府による全国的なGo Toキャンペーンの急な一時停止を受け、県内の年末年始に見込まれていた修学旅行のキャンセルが加速している。
	×	商店街(代表者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスのまん延で、商店街は大変疲弊している。閉店するところも出ており、大変危機的な状況である。ワクチンができない限りは、当分は続くのではないかと。
	×	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・やはりまだ客足は戻らず、周囲をみても厳しさがうかがえる。
	×	その他飲食[居酒屋](経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス第3波による感染者激増、飲食業への時短要請で、官庁ビジネス街は会食が控えられ、ホワイトカラーの入客はほとんどない。宴会中心の大型店舗は時短が始まった時点から、例年の週末売上比で100分の1まで落ち込み、運営店舗の平均でも75%減少している。時短協力店舗の売上補償も1事業所で1日4万円であり、単独小規模店は逆に利益が出ている店舗もあるが、当社は複数店舗を保有しているので1店舗8000円にしかならない。午後10時に閉めると午後8時以降の予約も入れられず、全く運営できない状態になってしまうので、生き残るため今回の時短要請にはやむを得ず協力していない。
	×	観光型ホテル(代表取締役)	来客数の動き	・Go To Travelキャンペーンで個人客の数字は少しずつ回復してきていたが、ここに来ての新型コロナウイルス感染者数の増加、そして、Go To Travelキャンペーンの一時停止により、予約のキャンセルが大幅に増加し、団体客、修学旅行もほぼ全てキャンセルとなっている。地元客を対象としている忘年会や新年会もほぼ0の状態になってしまっている。売上は11月比で30%となっている。
	×	旅行代理店(マネージャー)	それ以外	・突然のGo To Travelキャンペーン一時停止で、もともと中小には恩恵も少なく煩雑な雑務処理だけが増え疲弊している。

	×	観光名所（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響によりGo To Travelキャンペーン一時停止に伴い、戻りつつあった客数が大幅に減少している。
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・以前の状況に比べると売上が回復している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事は延期、保留により前年比で減少、民間工事は賃貸マンションやホテル新築予定が延期及び中止となり前年比で減少している。
	□	輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・景気は特段変わらず、消費が落ち込んでいるようには見受けられない。
	□	会計事務所（所長）	取引先の様子	・観光、飲食業を中心に業績が長期的に低迷している。かなり厳しい状況である。
	▲	—	—	—
	×	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注金額が全くないような状態である。
雇用 関連  (沖縄)	◎	—	—	—
	○	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・3か月前の9月と比較すると求人数は120%と伸びている。しかしながら前年同月比としては80%となり、まだまだ新型コロナウイルスの感染流行前の求人数までは程遠い。
	□	—	—	—
	▲	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人案件はあるが、求職者の動きが鈍く人手不足感は否めない。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・12月上旬の求人数に勢いはあったものの、Go To Travelキャンペーンの一時停止の決定後から、求人を取り下げる事業所が増えてきている。
	▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・前年同時期と比べ、求人数が激減している。
	×	—	—	—